

佐倉市補助金検討委員会（第4回）会議録

日時	令和5年9月25日（月） 16時00分～16時30分	場所	佐倉市役所1号館6階第2会議室
出席者	大原委員長 委員：岩崎委員、田井委員、高橋委員、横田委員（五十音順）		
	事務局	塩浜財政課長 石原主幹 伊藤主査 三田主任主事	
	その他	傍聴者 0名	
内 容			
<p>(1) 議事</p> <p>1. 「補助金等のあり方に関する意見」について</p> <p>(委員長)</p> <p>議題1 「補助金等のあり方に関する意見」について、事務局に説明を求める。</p> <p>(事務局)</p> <p>資料「補助金等のあり方に関する意見」について、素案からの修正点や、第3回委員会での議論を踏まえて作成した、「3. 今回の検証により見えてきた問題点」、「4. 今後に向けて」を説明。</p> <p>(委員長)</p> <p>事務局の説明に対し、意見、質問等はあるか。</p> <p>(委員)</p> <p>具体的な課題を見据えた上で、資料12ページ、「3. 今回の検証により見えてきた問題点」は、各委員の意見を踏まえたバランスの良いものになったと思う。また、運営費補助を継続するための要件である「合理的な理由」について、この要件が具体的にはどのようなことなのかと、率直に議論できたため、「合理的な理由」の詳細を詰めていこうという、今後の見直しにあたって指針となるような基準が出てきたので、個人的には大変良かったと思っている。全体として、前回まで議論の内容が12ページにまとめられており良いと思う。</p> <p>(委員長)</p> <p>事務局の説明に対し、その他に意見、質問等はあるか。(→意見等なし)</p> <p>(委員長)</p> <p>それでは本日の資料の内容を、当委員会の意見とする。</p> <p>今回で当委員会の審議は最後になるので、各委員から、委員会を通じての感想や今後の補助金検討委員会運営にあたり意見等を頂きたい。</p>			

(委員)

私自身は教職について10年ほど経つが、補助金そのものについて考える機会はあまり無かったため、今回、一から勉強を行った。地方自治体の現状を見据えた上で、今後、補助による政策の進め方というものについて考えた上で、方針転換をする場合にはどういった理由を示すのかという観点でも、率直な議論ができたと思い、非常に勉強になった。

委員会の進め方自体は、手際良く進めてもらい特に問題なかったと思う。

また、補助金を貰うだけでは問題無いが、補助金が少なくなったり、無くなったりする場合は、事実上の不利益処分になりうるので、丁寧に説明を尽くす必要があり、他方で、意義が失われたものを残しておく、薄く広く住民福祉を害する恐れがあるため、その観点を持ちながら、今後も進めてもらいたい。

(委員)

最初に今回の報告書、取りまとめて頂きありがたく思う。

行政の委員会に参加するのは初めての経験であり、慣れない部分もあったが大変勉強になった。

過去の委員会の中で、おそらくかなり詰めた精査や議論がされてきたため、今回の委員会ではどこを見直すべきか難しいと感じていた。しかし、最終的にでき上がった意見書では、本委員会の中で交わされた様々な意見をうまくまとめてもらいたいと感じている。

今後は、具体的に補助金を審査して、どのように予算をつけるのかという議論が始まると思うが、その過程において、今回の委員会の意見を踏まえて、より良い補助金のあり方が実現されることを期待している。

4年後の委員会に向けて、次回はどのような形や目的で開催されるかわからないが、補助金等交付基準の検証に加えて、補助金の周知や、成果検証の手法やプロセスのあり方についても検討されると良いのではないか。

(委員)

補助金を受ける側、申請する側から見た場合、団体においては市の担当部署との情報交換や接点があるため問題ないが、個人は補助金の情報を得る機会が非常に少ないように感じた。

住宅関連の補助金であれば、業者の方からどのような補助金を利用できるか情報を得る機会もあると思うが、その他は積極的に市のホームページなどを見ていないと見落としてしまうことが多いのかなと感じた。今回は補助金について、情報の発信と受けとめを考える機会となった。

(委員)

この委員会に参加して、様々な補助金があると知りとても勉強となった。私自身も、佐倉市に対して、もっと関心を持っていくべきだと感じた。

委員会の感想は2点ある。

1点目は、委員会が考えられて進められており、1回1回決まったことを公開しており、とても丁寧な進め方だと感心している。

2点目は、先ほど他の委員が話したように、自分も「こんな補助金があるとは知らなかった」というものがあり、もし知っていれば活用できたと思っている。自分の反省としては、もっとホームページを見ていくべきだと感じているが、一方で、補助金についてもう少し、どこか周知できる場所があると良いのではないか。

いろいろと発言したが、私自身としては良い経験ができて、更に佐倉市が好きになった。

(委員長)

各委員からは率直な意見をもらい、最終的に大変有意義な委員会となったことに感謝している。また、事務局の支援にも感謝している。

前回の委員会の直前に、沖縄県で貧困関係の実地調査を行い、各現場でどのように補助金が役立っているかということを実体験できた。また、沖縄県庁では補助金の全体像などを説明してもらい、様々な形で補助金が役立っていることを実感したこともあり、この委員会自体を身近に感じ、大変参考になった。

今後のこの委員会のあり方に関してだが、今回の検証のみならず、過去の委員会の検討状況を確認すると、いろいろ整理をされてきているという印象である。今後は、さらにブラッシュアップしていくという形になると思うが、一定の成果は確実に出ていると思う。今後についても、その時々課題というものが出てくると思うので、今まで通り粛々と進めて頂ければと思う。

(委員長)

それでは以上をもって、第4回佐倉市補助金検討委員会を閉会する。